

力 ラ	— ■ 照耀一念佛	台湾を歩く
卷 頭	言 ● 今、二十一世紀へ思いやりの心を	黒田
特 集	● 台湾仏教交流の旅	佐藤
稿	● スリランカの仏教省と大統領の指針	森
連 載	● 喫茶閑談 パリの茶	矢沢
力 ラ	— ■ 台湾ふれあいの旅	
留 学	記 ● 日常の日々	
	● ベナレス素描(1)	
	● シク教の祈り(3)	島
	● インドのしごき ("Ragging")	阿部
	● ZENマウンテンセンター 夏安居に参じて	保坂
	● 世界は開かれる——禅寺での一日	高橋
	● ラーダーラマン神の一日	沖田
	● デリーのバス事情	ルース・
	● 本山参拝の一日	及川
力 ラ	— ■ 三松閣参拝	晶子
善 光 寺	だより	弘美
読 者	からのお便り	清水
伊 藤 三 喜 庵	晃	岩
駒 泽		慈園
グ ラ ビ ア		俊司
題字・さし絵		堯英
		玉映
		利彦
		玄照
		武志
		祖道
		森
		佐藤
		俊明

今、一一一世纪へ思ひやうの心を

わが曹洞宗にとつて昨年はもうじつに意義深く記念の年であつました。すでにじき承知のじと存じますが、皆様が日頃読誦しておられた『修証義』が公布になつて百周年に正当いたしました。それで春以来全国各地で記念の行事が催され、十月十七日には幕張メッセで綿のくさびの記念大会が全宗門を挙げて、盛大かつ賑々しくおこなわれました。

たいへん結構なことではあります、これは一時のお祭り騒ぎに終りせてはならないことで、宗門人一人一人がそれぞれの立場において『修証義』の教えをいかに布教し実現するかが大きな問題であります。

そのような観点に立つて善光寺海外留学僧派遣育英会としては、この記念すべき年にあたり、日本と世界親しう身近かな国々との親善交流を深めようと、すでに前略でござる報告申上げましたように、四月には韓国を訪れ、韓國仏教界の重鎮、李鍾冠・蔡澤洙両先生と日韓両国の留学交流について詔し合つて参りました。そして十一月には江戸廻を訪れ、当善光

寺の末寺、箱根湯本觀音福寿院の姉妹寺院、彰化県の清水岩寺に拝登、日本僧侶合団で物故者の慰靈法要をおこなうと共に、台湾大学を訪れ、哲學系教授葉阿田先生を顧問に推戴いたしました。葉先生はこの機会にと、台湾大学においての講演会を企画して私たちを待ち受けてくれましたので、参与の阿部先生が原始仏教について研究の一端を披瀝され、ついで常務理事の佐藤老師が、「修証義公布百周年に即つ」と題して、今、二十一世紀に向つて、道元禪師のみ教えこそ私たちの生きる指針であることを強調し、(2)自身が戦時中、中国人の示された思いやりに感動した体験談で話を結び、聴衆に多大の感銘を与えた。

台湾大学では、孫震校長（総長）はじめ、黄啓方文学院長、張永德哲學系主任、その他の先生方がたいへん好意的に迎えて下さり、仏法の興隆をとおして世界の平和と進展に寄与せんとする切劔英会の事業に深い理解と大きな協力を約して下さりました。

どうか檀家の皆様方、この意義ある海外留学僧派遣育英会の事業推進に今後共相変わらぬご支援をお願い致します。